

リモートアンサンブルをなるべくフリーアプリ&ソフトで作っちゃおう！！

高木信

最近話題のリモートアンサンブル。普及率の高いスマートフォン向けアプリをなるべく使って、作成する方法を幾つかご紹介したいと思います。

もっと効率の良いやり方があるかと思いますが、リモートアンサンブルチャレンジしてみたい方の取っ掛かりになれば幸いです。

リモートアンサンブルの作り方には大きく分けて2つのやり方があると思います。もっとあるのかも知れませんが・・・・

#### ①動画をそのまま合成する。

最初、私はこれでやりました。スマートフォンで出来ます。ただ、なぜか動きと音がズレたり音的にはイマイチかも知れません。

また合成は出来ますが、繋ぐ事は出来ないのので、1曲通しの録画になります。長い曲はノーミス大変ですね！！

#### ②動画と音源の別収録。

このやり方が一般的だと思います。クリック（メトロノーム）に合わせて、音声メモ、動画をそれぞれ撮ってもらい送ってもらう。録音は区切っても大丈夫で、後に繋ぐことが可能なので、完成度は高くなると思います。またリバーブなどもかけられます。設備や高価なソフトが必要になる場合もあります。フリーソフトでも出来ますので後ほどご紹介します。

今回は私が経験した流れで紹介したいと思います。

①で試したのちに②の作り方の流れになります。

まず①の方法です。

#### (1)必要機材

スマートフォン（2台あると便利、Pad、パソコンでも可）、メトロノーム、イヤホン  
iPhoneの人は純正のイヤホン（マイクとして使用）

#### (2)使用アプリ

スマートフォン専用アプリ「俺のワイプ」を使用。

<https://apps.apple.com/jp/app/%E4%BF%BA%E3%81%AE%E3%83%AF%E3%82%A4%E3%83%97/id815123287>



チュートリアルを見ると比較的簡単に出来ると思います。

iMovieの「ピクチャーインピクチャー」のような機能ですが、iMovieは動画一つしか入れられませんが「俺のワイプ」は複数入れられます。（最大数は明記されてなく不明。）

動画の時間も制限見当たらず。長くても大丈夫そうでした。メーカー名が出たりする「ウォーターマーク」が無いのも良いです。

ワイプ入れて完成した動画は、同じシリーズの「俺の編集」「俺のアフレコ」を使うと文字を入れたり長さが調節できますし、iMovie使っても良いと思います。

#### 制作方法

- ①メンバーにメトロノームに合わせて動画を撮ってもらい送ってもらう。
- ②「俺のワイプ」で合成。

大きな流れはこんな感じです（笑）手抜きですみません。  
コツと注意点を幾つか・・・

1.「俺のワイプ」はマイクの入力レベル選べません。送られてきた各動画の音量は調節可能なのでバランスは取れますが、金管楽器は収録時に音割れする事多いので、マイクを付けて撮ると是正されると思います。そこでiPhoneのイヤホンを使います。マイクとしても中々優秀です。

2.「俺のワイプ」は元の動画にワイプを加えるアプリです。元の動画が全面で、それにワイプが加わる感じですが、元動画は音量や画像のサイズいじれません。  
そこで壁紙になる動画を撮りそこにワイプを重ねると扱いやすいです。

3.スマートフォンやPad、パソコン等2台使いできる場合は、ベースラインを先に収録してから、そのベースファイルを聴きながら録音するとピッチも合わせやすく出来が良くなります。最初に録画するベースの人はカウントを取らないと、他の人が入り難いです。  
カウントは編集ソフトで消すことが可能です。

因みに撮った録画に重ねる多重録画アプリに「Acapella」というアプリがあります。無料ですと機能が限られますが、課金すると入力レベル調整、リバーブなども出来て扱い易いです。演奏を被せての録画になりますので、結構楽しいです！！

ただ一人なら良いですが、メンバー全員がアプリを入れる必要があるので、結果高くつくかも知れません。一人で多重録画するには最適です！！



<https://apps.apple.com/jp/app/acapella-from-picplaypost/id924635678>

4.メトロノームは、電子メトロノームでもメーカーによって誤差が生じます。メーカーを揃えるか、シーケンサーソフトでクリックを作ると良いです。

私は楽譜を書くのに「finale」使っていたので、それで作ったクリックファイルをメンバーに送りテンポを共有しました。

ここでもスマートフォン等のハードが2台あると便利です。

上記の様に制作しましたが、もう少し音源の方は良くしたいと思い、②動画と音源の 別収録になりました。またこの頃からオンラインレッスン様にも使える様にマイクを考え始めました。

## ②動画と音源の別収録

追加機材。

TASCAM DR-07X (同05X、マイクが固定型。これで、良いと思います。)

コンデンサーマイクをパソコンやスマートフォンに繋ぐ時に必要な、オーディオインターフェースが付いているレコーダーです。便利！！

音だけ考えたらコンデンサーマイクとオーディオインターフェースの方が良いのかも知れませんが、ライトユーザーの私には色々使えるTASCAM DR-07Xは本当に便利です。

パソコンに繋ぐのにはUSBケーブル(タイプAオス - マイクロBケーブル)、スマートフォンにはさらにカメラアダプター(純正が安心)が必要になります。

今後、吹奏楽等の合奏が再開した時にはスマートフォンと連動させて音の良い動画を撮るつもりなので、今から楽しみです。

追加ソフト(2つともMacに元々入っている)

○Garage Band、録音ファイルを編集します。Garage Band はスマートフォンにも入ってますが、そちらは使った事ないので良くわかりません。ごめんなさい。

部分的にファイルを作ってもらい送ってもらえば繋がりますし、リバーブも色々出来ます。

使い方、色々アップされていると思います。

○iMovie、皆さんに送ってもらった動画と音源をこれで合わせられます。

こちらも使い方は色々アップされてると思います。

[https://www.youtube.com/watch?v=MMGVB\\_Ycl4Q](https://www.youtube.com/watch?v=MMGVB_Ycl4Q)

追加アプリ

○PCM録音 - ボイスレコーダー

メンバー各自に送ってもらう録音メモアプリです。マイク感度も変えられます。

使いやすいと思います。

<https://apps.apple.com/jp/app/pcm%E9%8C%B2%E9%9F%B3-%E3%83%9C%E3%82%A4%E3%82%B9%E3%83%AC%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%80%E3%83%BC/id439572045>



## まとめ

- ①メンバーにクリックを送り、音源と動画を撮ってもらう。音源は演奏重視。動画は動き重視。ただしクリックに合わせること。
- ②送られて来た動画をスマートフォンの「俺のワイプ」で加工。
- ③送られて来た音源をパソコンの「Garage Band」で加工。
- ④加工した②をパソコンの「iMovie」で合わせ仕上げ。

画像をもっと凝りたい方は「iMovie」の有料版にあたる「Final Cut Pro X」を入手するのも良いかと思います。

まずはお手軽に「俺のワイプ」や一人で多重録音なら「Acappella」も楽しいと思います。他にもたくさん優秀なアプリやソフトあるので色々チャレンジしてみてください。